

取り皿・パネル・オブジェ

32番 渡邊 寿子

《デザインコンセプト・制作意図》

～残したいモノ・伝えたいモノ～

*桜の取り皿（乾漆）

家族で使えて、食卓を彩るもの考えた。乾漆の特性である曲線を活かしたデザインにした。5枚を円にして並べると桜の花となる。重ねて葉に入れ収納できる。

*パネル（ある日）

螺鈿という技法を取り入れて華やかさを出した。飾って残せるモノとして楽しい感じの絵にした。

*オブジェ（段階）

平面を活かしたデザインにした。配置を変えられるものにした。

*オブジェ（卵たち）

漆のイメージにある黒や朱の色だけでなく、他の色を使ってカラフルにしようと考えた。変わり塗り（研ぎ出し模様）にしておもしろさを出した。底に錘を入れて、起き上がり小法師のようにして遊べるようにした。

《制作工程》

*桜の取り皿

1. 石膏型を作る
2. 錫金貝を貼る（脱型層）
3. 寒冷紗を糊漆で貼り、切粉付け（葉…8回・花びら…5回）
4. 石膏型をはずす
5. 錆付け（2回）
6. 錆固め
7. 下塗り
8. 中塗り
9. 上塗り（花塗り）

*パネル（ある日）

1. 木取り
2. 木固め
3. 切粉付け（3回）
4. 切粉固め
5. 錆付け（2回）
6. 錆固め
7. 下塗り
8. 中塗り
9. 上塗り
10. 炭研ぎ
11. 摺り漆
12. 蒔絵
13. 胴摺り

*オブジェ（段階）

1. 木取り
2. 木固め
3. 切粉付け（2回）
4. 切粉固め
5. 錆付け（2回）
6. 錆固め
7. 下塗り
8. 中塗り
9. 上塗り
10. 胴摺り

*オブジェ（卵たち）

1. 木固め
2. 寒冷紗を糊漆で貼り、切粉付け（2回）
3. 切粉付け（2回）
4. 切粉固め
5. 錆付け（2回）
6. 錆固め
7. 下塗り
8. 中塗り
9. 上塗り
10. 色漆（各2回）
11. 色漆（別色、各2回）
12. 水研ぎ
13. 胴摺り

桜の取り皿



～花びら～



～葉～



パネル
～ある日～

オブジェ



～段階～



～卵たち～

《感想・考察》

会津の伝統工芸である漆を学び、制作できたことは、とても良い経験になりました。毎日少しずつ進めていくので、時間や根気のいる作業でした。けれど、徐々に光沢が増し、輝いてくる作品を見ていると大変さも楽しさにも変わりました。そして、漆に対する興味が増えてきて、いろんな塗りや技法も取り入れた作品づくりができました。卒業研究で作った作品は自分らしい作品になりとても満足しています。そしてこれからもずっと大切に使い続けたいと思います。